

連結決算補足説明資料

2020年3月期 第1四半期

(2019年4月1日～2019年6月30日)

2019年7月30日

(証券コード：9640)

株式会社 セゾン情報システムズ

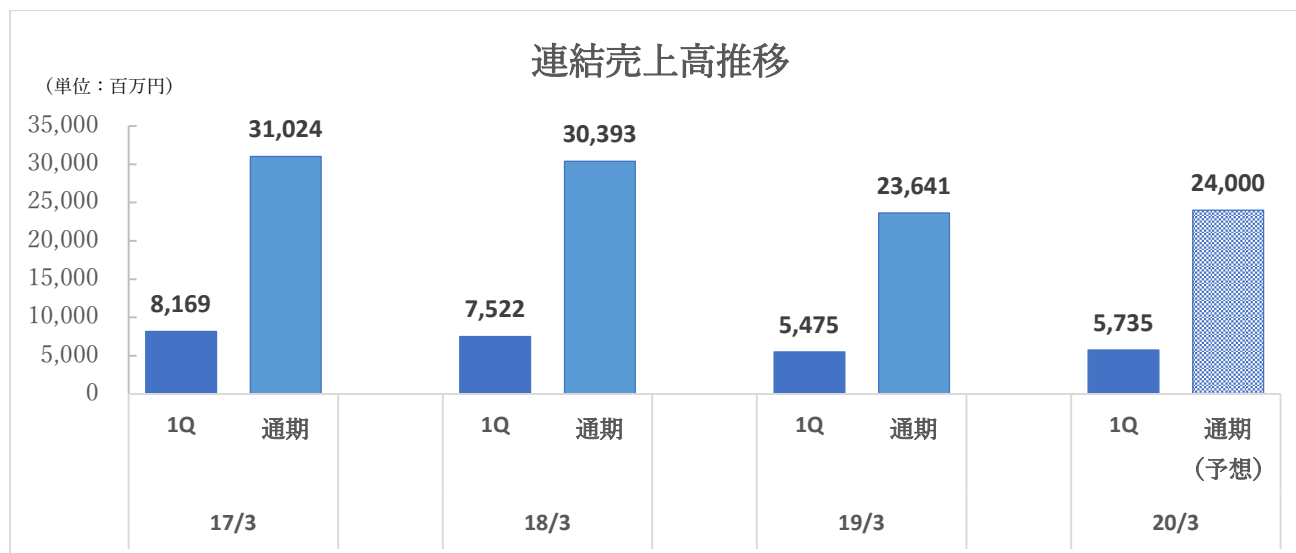
目次

1. 連結売上高・連結営業利益推移
2. 事業セグメント別の損益状況
 - ① Fintech プラットフォーム事業
 - ② 流通 IT サービス事業
 - ③ HULFT 事業
3. 新技術・新領域進捗状況
4. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益推移

■連結売上高



<当第1四半期連結累計期間>

当連結会計年度は、新たな事業領域の拡大に向けた取り組みを継続しております。当第1四半期連結累計期間においては、通期計画値（24,000百万円）に対して進捗率23.9%となり順調に推移しました。

<2019年3月期（通期）>

- 大型システム開発が完了していることから売上高は減少したものの計画値は達成
- 新技術・新領域へ事業展開の取り組みを強化
- 流通ITサービス事業においてデータ連携サービスが順調に増加（前期比45百万円増）
- HULFT事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調で過去最高売上高を達成（前期比321百万円増）
- 子会社株式会社アプレッソを2019年4月1日付で吸収合併（⇒適時開示、2019年1月30日）

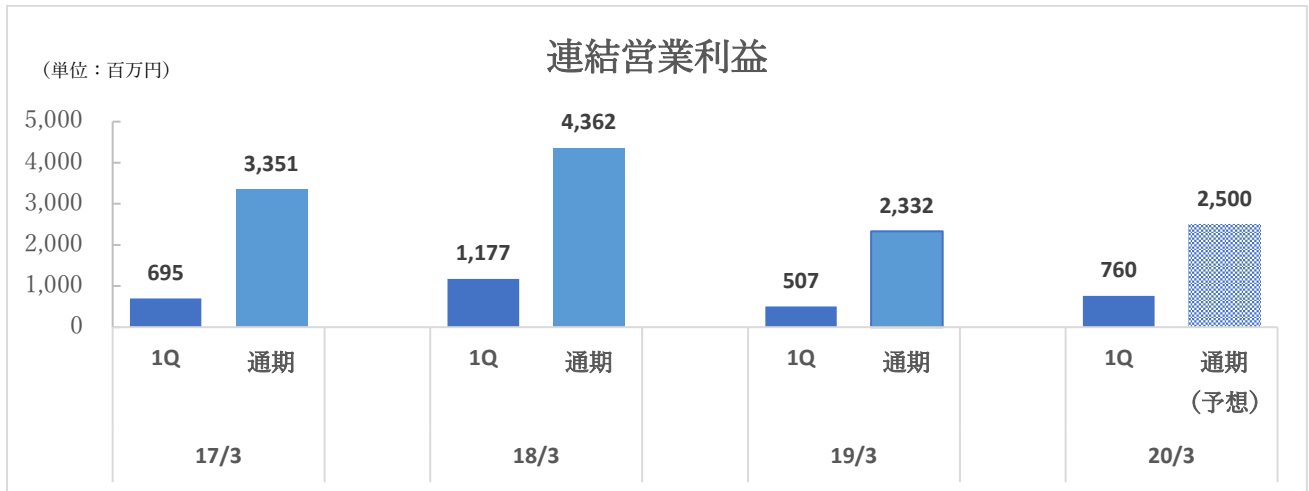
<2018年3月期（通期）>

- 大型システム開発完了・稼動しカードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上高に大きく貢献（前期比774百万円増）
- HULFT事業ライセンス/サービス、サポート売上好調（前期比258百万円増）
- 子会社株式会社フェスを2018年1月に事業譲渡（⇒適時開示、2017年11月29日）

<2017年3月期（通期）>

- カードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上回復（前期比1,937百万円増）
- その他事業（株式会社フェス等）売上が順調に進捗（前期比1,142百万円増）

■連結営業利益



<当第1四半期連結累計期間>

売上高と同様に通期計画値（2,500百万円）に対して進捗率30.4%となり順調に推移しています。

<2019年3月期（通期）>

- 売上高同様、前連結会計年度に大型システム開発案件が完了したことによる利益減少したものの計画値は達成
- HULFT 事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調であったことに伴い利益増加（前期比426百万円増）

<2018年3月期（通期）>

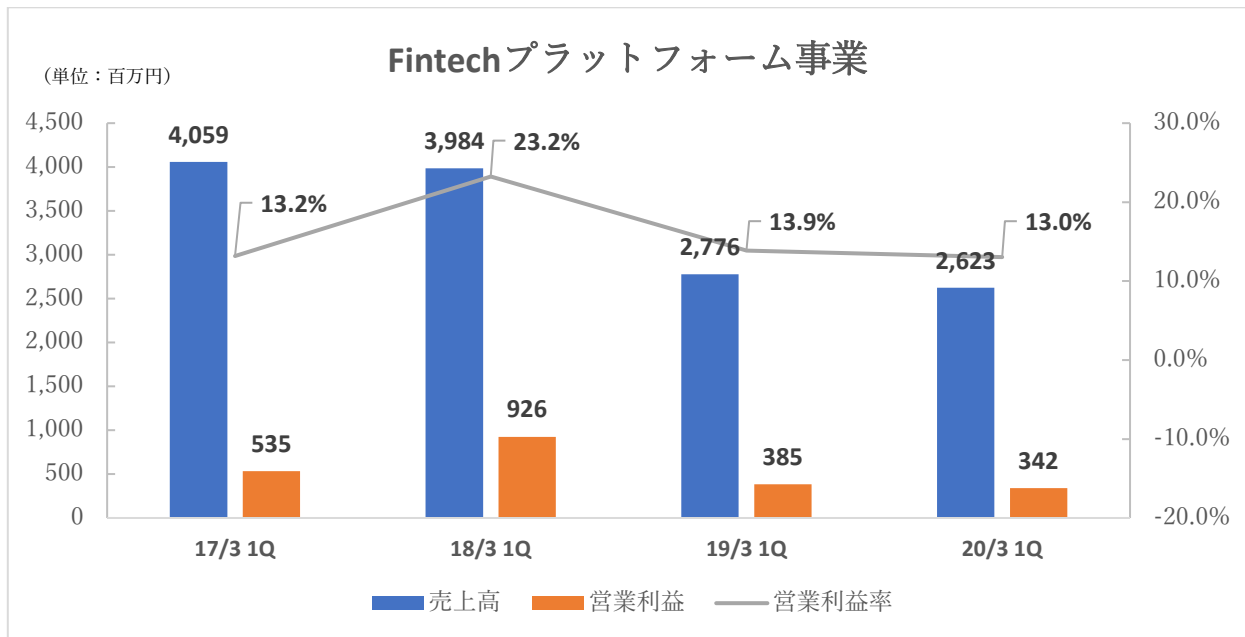
- カードシステム事業（現 Fintech プラットフォーム事業）売上増加及び新旧システム並行稼働による一時的な収益性向上による利益増加（前期比1,170百万円増）
- 流通・ITソリューション事業（現 流通ITサービス事業）において前期計上の解約損失引当金の影響により利益増加（前期比859百万円増）

<2017年3月期（通期）>

- カードシステム事業（現 Fintech プラットフォーム事業）売上増加に伴う利益増加（前期比1,199百万円増）
- 前期に赤字であった BPO 事業を譲渡したことによる利益体質改善（前期比1,253百万円増）

2. 事業セグメント別の損益状況

① Fintech プラットフォーム事業



当第1四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2019年3月期第1四半期（Fintechプラットフォーム事業）>

- 大型システム開発が完了したこと等により売上減少（前年同期比1,208百万円減）
- 大型システム開発に伴う売上減少及び一時的な高利益率状態の解消により営業利益減少（前年同期比541百万円減）

（注）2018年4月1日付で「カードシステム事業」を「Fintechプラットフォーム事業」に名称変更しています。

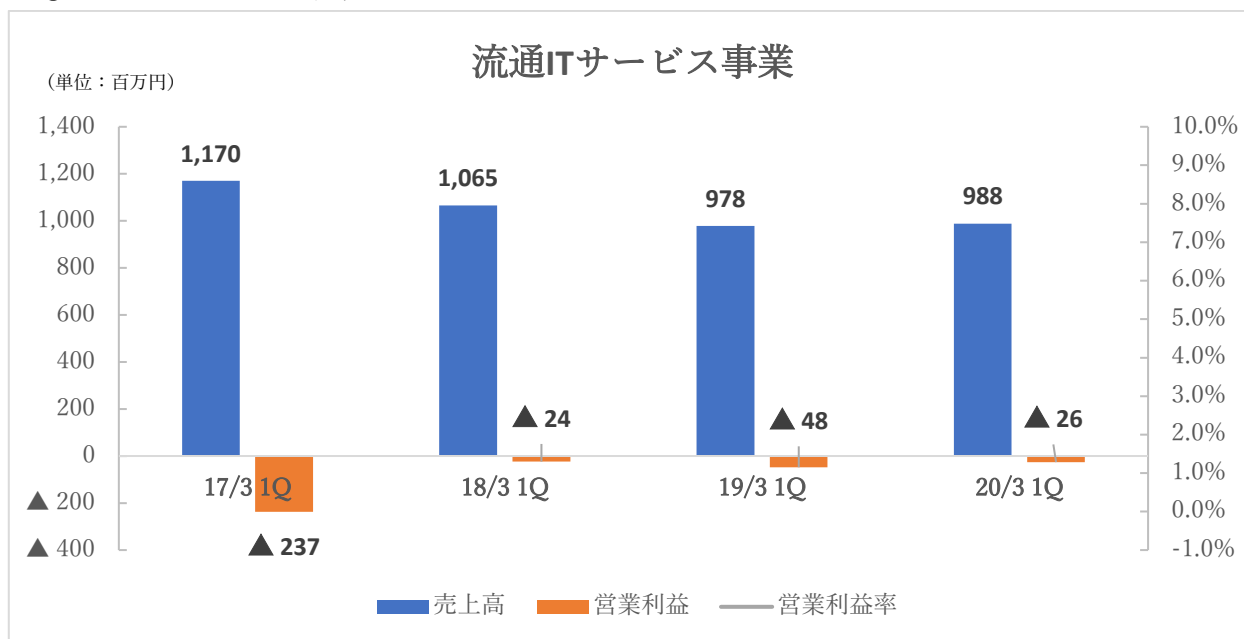
<2018年3月期第1四半期（カードシステム事業）>

- 顧客向けシステム開発減少等による売上高減少（前年同期比75百万円減）
- 大型システム開発に伴う売上増加及び一時的な高利益率状態による営業利益増加（前年同期比390百万円増）

<2017年3月期第1四半期（カードシステム事業）>

- 製品保証対応等により一時的に減少したシステム開発及び情報処理サービスが回復したことによる売上高増加（前年同期比867百万円増）
- 売上高の回復に伴う利益改善（前年同期比214百万円増）

② 流通 IT サービス事業



当第1四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2019年3月期第1四半期（流通ITサービス事業）>

- システム開発中心からサービス提供中心へ事業モデル変革を目指し、システム開発案件を当社の強みを活かせる案件へ限定したことによる売上高減少（前年同期比 87 百万円減）
- (注) 2018年4月1日付で「流通・ITソリューション事業」を「流通ITサービス事業」に名称変更しています。

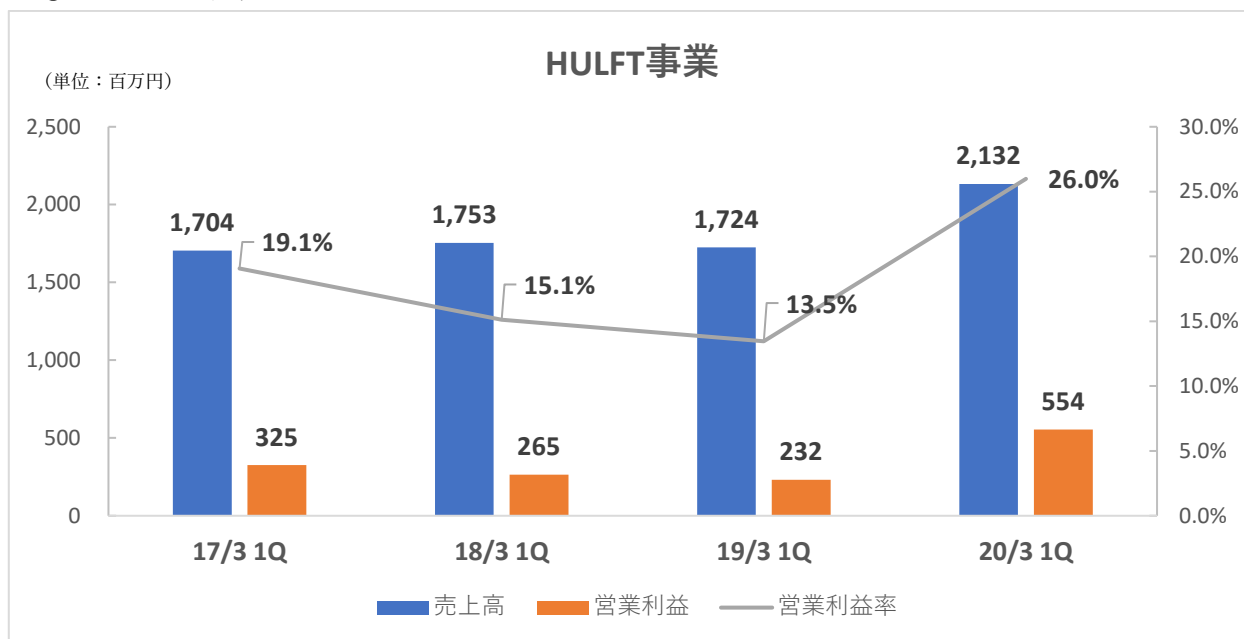
<2018年3月期第1四半期（流通・ITソリューション事業）>

- 既存顧客向けシステム開発が減少したことにより売上高減少（前年同期比 104 百万円減）
- 生産性向上による収益性向上や前期に計上したプロジェクト開発中止に係る損失が収斂したことにより営業利益が改善（前年同期比 213 百万円増）

<2017年3月期第1四半期（流通・ITソリューション事業）>

- システム開発案件及び情報処理サービスが減少し売上高が減少（前年同期比 200 百万円減）
- 解約損失引当金繰入額の計上により営業損失を計上（前年同期比 269 百万円減）

③ HULFT 事業



当第1四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2019年3月期第1四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の月額利用サービス販売が拡大した一方で、ライセンス売上が減少したことによる売上高やや減少（前年同期比28百万円減）
- さらなる事業拡大を図るため、製品開発体制の再構築、グローバル展開強化、次世代戦略製品の研究開発及び人材育成等へ事業投資を積極的に実施したことによる利益減少（前年同期比33百万円減）

<2018年3月期第1四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の保守サービス販売が増加したことによる売上高増加（前年同期比48百万円増）
- テクニカルサポート体制強化、マーケティング活動推進等により販売費及び一般管理費が増加したことによる営業利益減少（前年同期比59百万円減）

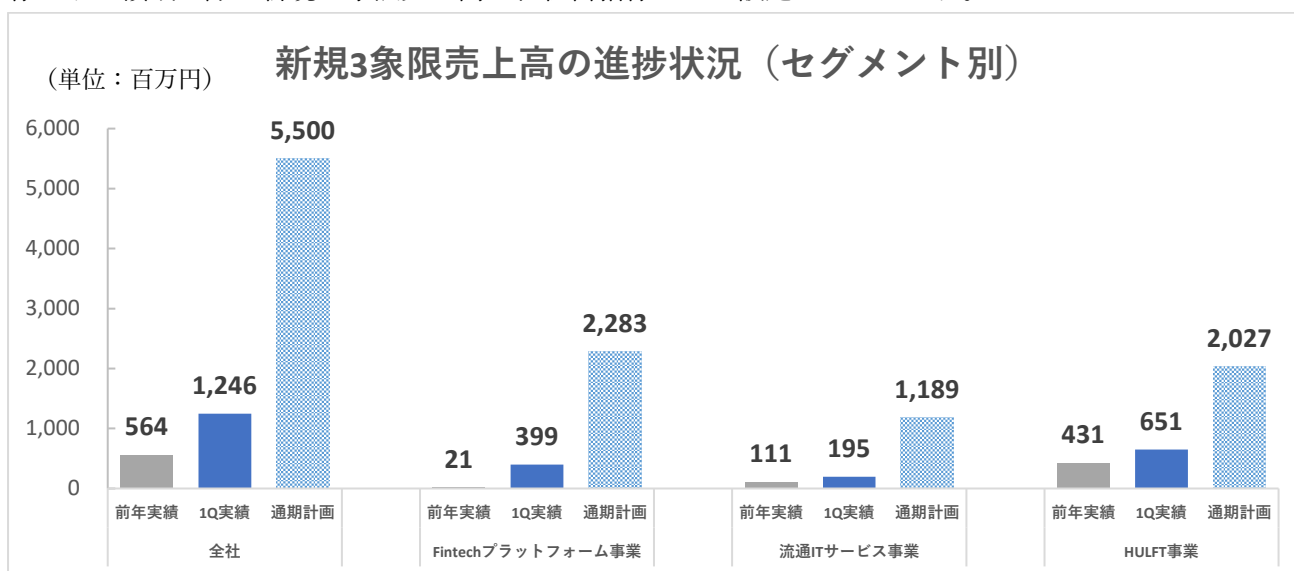
<2017年3月期第1四半期>

- 「HULFT」等のライセンス販売減少により売上高が減少（前年同期比68百万円減）
- 戦略的な投資拡大のため費用が増加したため営業利益が減少（前年同期比360百万円減）
- グローバル展開の一環として、北米地域への拡販を主な目的として、アメリカ合衆国現地法人HULFT, Inc.を設立

3. 新規3領域進捗状況

■事業方針

当社グループは、事業領域の拡大と先端技術を駆使した提案型ビジネスへ事業モデル刷新を実現するため、新技術・新領域への事業領域拡大を経営目標として掲げております。新技術・新領域への事業領域拡大は、事業を4つの象限に区分して象限別に進捗管理を実施しています。この4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高は、経営指標として設定しております。



■全社

当連結会計年度の計画において、4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高計画値は5,500百万円としています。当第1四半期連結累計期間での実績は1,246百万円であり、進捗率は22.7%となっております。各セグメントの実績は以下のとおりとなっております。

■Fintechプラットフォーム事業

Fintechプラットフォーム事業は、通期計画値2,283百万円に対して、当連結累計期間での実績は399百万円となり、進捗率は17.5%です。

■流通ITサービス事業

流通ITサービス事業は、通期計画値1,189百万円に対して、当連結累計期間での実績は195百万円であり、進捗率は16.4%です。

■HULFT事業

HULFT事業は、通期計画値2,027百万円に対して、当連結累計期間での実績は651百万円であり、進捗率は32.1%です。

4. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2019年4月1日～6月30日）

- 国産 iPaaS 『DataSpider Cloud』 新バージョンを提供開始
～Salesforce、AWS、kintone などの新技術に対応～
⇒各社クラウドサービスの新機能に対応し、開発のしやすさにこだわって機能をデザイン
- トヨタ自動車、基幹システムと Salesforce 次期営業活動支援システムをつなぐデータ連携基盤に DataSpider Cloud を採用
～今後 1 年程度で全国 280 の販売会社に対し自動構築・運用・保守をテラスカイが対応～
⇒トヨタ自動車が、販売会社で使用される Salesforce 次期営業活動支援システムと基幹システムをつなぐデータ連携基盤として「DataSpider Cloud」の採用を決定
- 赤坂インターシティ AIR にてブロックチェーン技術を活用したトレーサビリティ機能付き宅配ロッカーサービスの試験運用を開始
⇒ブロックチェーン技術を活用したサービス「Delivery Locker on Blockchain」が有するトレーサビリティ機能の「安心・安全」と「高い利便性」が評価され、赤坂インターシティ AIR（東京都港区）に設置し試験運用開始

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

ビジネスサポート部 IR 担当

Tel：03-6370-2930

URL：<https://home.saison.co.jp/>